

## 第 17 回 中山間地域振興特別委員会記録

令和元年 7 月 4 日(木)  
(議会運営委員会終了後)  
14 時 03 分～15 時 15 分  
第 4 委 員 会 室

【出席者】 飛野委員長 布施副委員長 三浦委員 西川委員 川上委員 柳楽委員  
串崎委員 上野委員 岡本委員 芦谷委員 永見委員

【議長団】

【委員外議員】

【事務局】 古森局長 下間係長

---

### 議 題

1. 「交通・通信・情報の確保対策」について（提言に向けて）

2. 行政視察について

3. その他

○次回開催 8 月 8 日(木) 福祉環境委員会終了後(13 時 00 分)

---

飛野委員長

それでは、ただいまから令和元年7月4日の第17回中山間地域振興特別委員会を開会します。本日は、11名全員出席で定足数に達しています。

前回の第16回委員会においては、第15回委員会での執行部から資料提供、説明を踏まえて意見交換したところであります。

本日は、前回の意見の要点を簡単に箇条書きにまとめておりますので、このことを踏まえて提言書の形になるような意見交換をお願いします。

## 1. 「交通・通信・情報の確保対策」について（提言に向けて）

飛野委員長

早速、議題1の「交通・通信・情報の確保対策について」に入ります。それでは、最初に提言書のたたき台の資料について、事務局から説明をお願いします。

古森局長

(以下、資料をもとに説明)

飛野委員長

説明が終わりました。今回の提言ですが、メインテーマについて皆様から意見をいただきたいと考えます。

3月の時は「自主性にとどまらない主体性の創造による地域活動の推進」でした。

西川委員

これはある程度話をしてからでないと思われたいと思うのですが、後でまとめて決めた方が良さそうな気がします。どうでしょうか。

飛野委員長

これが決まらないと全然前に進まないものでもないで、西川委員がおっしゃったようにこれから視察も含めて色々する中で、自分の頭で考えたのですが、もし今、何か自分の意見がありましたら。

柳楽委員

西川委員が言われたことも分かるのですが、ある程度絞って話をする方が進めやすい気はします。

提言1の「交通空白地域の解消を図ること」の中で、空白地域を解消すれば買い物弱者や通院困難が全部ひっくるめられるという考え方で良いですか。

飛野委員長

その2項目に絞ったら良いのではないかと。どうしても提言は3つにしなさいという意見が出れば別ですが、2項目くらいに絞れたらと考えています。

柳楽委員

それであれば、とりあえずこの2つに絞った形で進めて、西川委員が言われたように、それ以外に項目に挙げないといけない所が出てくれば、その時に増やせば良いかなと思いました。

飛野委員長

どうですか西川委員。

西川委員

一句読めました。「だれ一人として取り残されることのない地域づくりを」こんな感じではないですか。

芦谷委員

今言われたのは大変良いけど、更に踏み込んで、交通空白地域だけではないと思うのです。体の弱い人や付き添い等も含めて、交通の便さえ

あれば良いのではなくバリアフリーのようなものが必要だろうし。そういう面で言えば人の移動を保証するというか、人の気持ちが人権に関係するような文言を……また考えます。移動権を保障するというか。

もう1つは、提言2の「情報の発信」だけでなく「受発信」ではないかと思っています。色んな手段があるのですが、とにかく市民が情報の受発信で困ることがないように。文言はまた考えます。

飛野委員長  
三浦委員

はい。他に。

聞いてみるのですが、交通空白地域とはどういう意味合いですか。公共交通にアクセスできない人を作らないという意味ですか。

古森局長

言葉として特に理由があるわけではなく、今まで言われていたことをそのまま載せただけなので。話をされる中で提言1で交通関係を1つに括るというスタンスと、情報のことを1つにくくるというスタンスで、とりあえず2つを分けたので、この提言1・2の見出しについては話の中でどう変わっても問題ないと思います。

飛野委員長  
芦谷委員

一応たたき台的に挙げています。

確認して欲しいのだが、交通空白地域の定義は確かバス停等から500メートル以上外れた所だった。その部分にどんちっちタクシー等が入ってくれば解消される扱いになったと思う。

上野委員

うちの地域はバス停から500メートル以上離れた場所がすごくある。しかし病院の車が週に何度か、患者を送迎している。福祉施設等も奥部の方に住む人まで送迎している。利用していない人が乗るわけにはいかないが、そういうのを上手く活用できれば。

布施副委員長

宇津井はバス停もないのです。公共交通も走らない、タクシーを呼ぼうにも非常に時間がかかる。基幹道路から1キロ以上奥に入っている所もあって非常に難しい。交通空白地域の定義はそうでしょうが、それに当てはまらない部分が一杯あります。それが中山間地域に多いから、基幹道路からの枝線が問題で皆さん病院や介護で悩んでおられるのだと思います。

この前政策討論会の時に総務文教委員会が公共交通の政策提言をこのたびされるのですが、この中山間地域のテーマが被るのではないかということで、1つの議会として総務文教委員会に出すテーマと中山間地域の出すテーマが、1つの議会から提言として出す。あちらは討論して最終的にはどうするか決まるのですが、どのように考え方を棲み分けするのかという話が幹事会で出ました。総務文教委員会は飽くまでも公共交通、市全体のことについて提言していく。中山間地域振興特別委員会では中山間地域における移動手段がままならないこと、市の施策があつたり民間路線バスは通っているけど、それ以上に皆さんが交通の不便さを感じているからそこを何とかしてくれという話で、皆さんが1年半前に最初に出されたテーマの中でこういう問題が出てきて、第2弾として戦っているという話です。

先ほど西川委員が言われたように、地域で孤立するのは色々な意味合

いで。移動手段がなければ孤立するし情報もなければ孤立します。両方に遭い被っているテーマとしては、ものの言い方は変えるにしても、こういう考え方で進めたら良いのではないかと思います。

飛野委員長

副委員長から話がありました。政策討論会の話が出たのですが、この件について先に少し整理しておかないといけないことがあれば申し出てください。

西川委員

総務文教は私と永見委員の2人です。総務文教の経緯は、地域井戸端会から上がってきたテーマが3つあって、空き家対策と地域リーダーづくりと公共交通、そこから各委員が選んで持ち寄ったのですが、その時に私から「中山間地域特別委員会でもやっています」と話をして、集まった時にも話をして、決まった時にも再三話をしたのですが、しかしやるということなので委員長同士で擦り合わせてくださいとしか言いませんでした。とりあえず同じ議会からテーマで違う声が出たらおかしいという話はしましたが、委員長同士で話をしてもらうしかないかなと思いました。

布施副委員長

私も総務のものを見させてもらいました。総務文教委員会は浜田市内の公共交通の利用者、事業者、利用者全部踏まえての政策提言みたいな感じだったと思います。中山間地域はその中で特に中山間地域に限って枝線から幹線道路までのアクセスがままならないところがあるから、自治会輸送等をやっていきましょうという案を最終的に市長に提言するのか、総務と同じような考え方で浜田市全体の公共交通を考えながらAIの自動運転バスも含めての提言にするのかによって、考え方が全然違ってくると思います。運転手の問題もあるでしょう。免許証自主返納者が多くなればそれだけの手当、補助の仕方を考えないといけない。そこまで踏み込んだものやっていくのか。話によって違ってくると思いますが、皆さんどう思われているか聞いてみたら良いのでは。

柳楽委員

前回にもその話が出たと思うのですが、そこを考え始めると議論の中で制約されてしまう、限られた話になってきてしまうのかなと思います。総務で今回政策提言に関して、特別委員会で同じテーマを扱っていることも分かった上で出されたということは、特にその部分で同じことをやっていると考えなくても良いのではないかと思います。

飛野委員長

この前幹事会に出て自分なりの意見を言わせていただきました。総務としては議会報告会に出てきた問題を取り上げたということで。こちらとしては中山間地の問題としてこれをやる、向こうもこれをやる、それだけ浜田市はその部分に問題があるからこそこうなっている。そう考えると向こうも10月に提言したい、こちらも10月に提言したい。両方でやることでマイナスになることがあってはいけないけど、お互い切磋琢磨することで浜田市にとって良い形になると考えて、こちらとしては中山間地域振興特別委員会の中でこの問題をやっていくので、限定して粛々と進めていきたい、と私は言いました。多少すり合わせが必要ならしても良いですが、基本はこのままいきたいと思っています。どうでし

ようか。大丈夫でしょうか。ここをきちんと整理しておかないといけないと思いますが。

布施副委員長

柳楽さんの言われることは非常に分かります。表面に出さずにそういうことも考えながらやっていくと確認して、その中で全体を考えないといけない部分が出て来るでしょう、それはそれとしてやるのですが、やはり先ほど委員長が言われたように中山間特別委員会としての考え方は、現状の施策を踏まえながら提言していく感じを出した方が、最終的には同じような答えになるとしても、両者の提言は少し違うという意味合いで捉えて提言していった方が良いのではないかと思います。ここは、提言すれば市長には必ずいきます。政策討論会はまだ土俵に上がったばかりですので、これが政策提言になるかどうかは分からない。ただ、あそこは23人皆でそのテーマについて自由討議をする。これが特別委員会とは違う所です。

西川委員

同じ10月に提言を出す時に、例えば両方合わせて1+1が2になる内容なら総務文教と中山間特別委員会の連名ですとか。足して2にならず引かなければいけないものがあるなら別々にやるとか。細かく考えずにうちはうちでやっても良いと思います。

布施副委員長

先ほど言葉足らずだったのですが、特別委員会も議員の賛同がないと提言出来ませんので。ここだけが提言するわけではない。大変すみませんでした。討論が出来る現場としては総務文教委員会の全員で自由討議する場があるということです。

飛野委員長

今の意見に対して皆さんの意見を伺いたいと思います。

西川委員

基本的には正副委員長にお任せします。

三浦委員

西川さんの話にひっつけて。ではなぜ今回の議論は交通・通信・情報になっているかということ、結局、物事にアクセスできない、インフラが整備されてないということが課題なのだと思うので、例えば交通の便がないからどこどこに行けないという人を取り除くための対策を考えようという話ですし、例えば防災についてもここだけ電波が届かないから情報にアクセスできないという問題をどうにかしようということを話し合うというテーマだと思います。「一人として取り残さない」という枕詞がありましたが、その後例えば、弊害がないという意味で「シームレスな生活基盤整備の推進」として、誰でもが目的地に行けるために交通をどうするか、誰もが情報にアクセスするために必要なツールをどうするか、そうすればポケベルのことは見に行くとか、新しいインターネット環境だとかケーブルテレビをどうするといったことも、この中で考えられるのではないかと。小見出しではないですが、そこにぶら下がる項目が、交通についてと情報環境という大きな2つなのかなと整理すれば、僕は交通空白地域という言葉が本当に良いのか疑問が残るのですが、とにかくそのようにして誰かが取り残される状況を作らないようにしましょうということが議論出来るのではないかと思います。

飛野委員長

すみません、横文字部分を含めて再度お願いします。

三浦委員

一人として取り残さないシームレスな生活基盤整備の推進。シームレスとは継ぎ目がないということです。例えば幹線の交通があるけどそこから先のアクセスが……。

柳楽委員

我々はシームレスと言われればネットで調べたりしますが、市民の方は……。

三浦委員

良いんですよ、シームレスという言葉はどう言い換えれば良いか分からなかったから横文字を使ったのですが。

柳楽委員

それを日本語に直して。

布施副委員長

継ぎ目のない。

三浦委員

シームレスな生活基盤とすると、交通インフラ、情報インフラということで一括りにできるかなど。大きいテーマならどちらかに偏ったり漠然とし過ぎても、地域活動だと色んなこと、他のことも結構入ってしまうかなと思って。だからもう少しテーマを交通と情報関係、インフラに寄せたら生活基盤はどうかなと思ったのです。

飛野委員長

日本語をそのまま当てはめたら少し調子が悪いな。

三浦委員

要は分断のない、ということなのですよ。

川上議員

人口減少で空白化する地域というものが実際に中山間地域にあって、そこを繋げ合えるようにできるための手段が、多分これだと思います。その辺をもう少し具体的にすることだと思います。

飛野委員長

暫時休憩します。

[ 14時 36分 休憩 ]

[ 14時 45分 再開 ]

飛野委員長

会議を再開します。意見をいただきましたテーマについて、それと提言についてもご意見をいただきました。先ほどから一部の方から意見がありましたように、各委員個人がまとめて提出するのが良いのか、先ほどの意見を正副委員長で整理するのが良いのか、皆さんにお諮りしたいと思います。

( 「お任せします」という声あり )

では正副委員長で先ほどの意見をまとめさせていただいて、これはまだ仮称部分があるかと思いますが、それはそれでよろしいでしょうか。

( 「はい」という声あり )

では、テーマについてはそのようにさせていただきます。

テーマが一応仮称のもとに決まったという前提のもとに、その中で皆さんに1つずつ意見をいただく形になります。

提言1の交通空白地について、皆様からの意見交換をしたいと考えます。

布施副委員長

先ほど柳楽委員から、交通空白ではなく交通弱者として仮に考えて、前回皆さんから意見をいただきましたよね、それも意見交換していただきたいという考えをしたらどうかということもあったのですが、今度は出

されたものを提言にしていくために、どこを地に考えていくかをまず話さない。100円タクシーなのか、自治会輸送なのか、そういう提言につながっていくような意見を皆さんから出してもらわない。また自由討議にすると前回やった部分である程度上積みしていくことは大事ですが、堂々巡りになるので。

飛野委員長

説明いただいた内容がここに箇条書きになっています。この中から副委員長が言われたことを踏まえて提言に結び付くようなご意見をいただきたいと考えます。

柳楽委員

せっかく今度視察にいきますよね、今更なのですがこの特別委員会を視察の後の方が良かったのかなとすごく思ったのです。今出しておいてそこを修正したりしても良いかとは思いますが。

飛野委員長

冒頭に局長からも説明がありました。7月末の視察を踏まえてのまとめもありますから、継続して進めていきたいと思えます。だから今日例えば皆さんから意見をいただいても、最終のものではない形になります。視察も踏まえて最終的なものが出てくる。それを踏まえてご意見いただけたら嬉しく思います。交通弱者についてもお願いします。

川上議員

提言らしきことを考えないといけないという思いを持ちながら視察をすれば、より一層良いのが出てくるのではないかと思います。

三浦委員

議論を進めていく時に、これまでの意見交換の内容を箇条書きにはしていただいているのですが、これだと次の議論に進みにくいと思えます。提言をどのような形にするかを考えると、例えば今の交通環境において何が課題なのかを抽出した方が良いのではないかと思います。例えば、利便性が低下しているとか。こうだから利便性が低下しているという現状があれば、ではそれを解消するために幹線とコミュニティバスの接続をもう少しスムーズにするような工夫を何かした方が良いのではないかと。いった提言ができるかもしれませんし、あるいは乗り継ぎの工夫を試みようとか。あるいは別の課題として運転手が不足しているとか、あるいは車両が古くなっていることが課題としてあるなら、運転手を確保するためにどうするかと言えば、自動運転の導入も検討してみるとか。実証実験をやらないと、このまま不足不足と言っていたら解消できないから、そういう新しい取り組みもしないといけないのではないかと。これを提言するとか。あるいは、いつまでも公共交通がずっとあるという住民意識のままですと、コミュニティバスや自治会輸送を既にされている地域というのは、もう危機感を持っておられるから活動が始まっているはずなのです。始まらない所は困ってないしこれからは困らないと思っているから始まらないのだと思えます。今後のことを考えれば、地域住民の方々にもいずれこういう状況が来るかもしれないので考えようということ、意識を持ってもらうことも重要だと思います。そのために何をするか提言に書いておくとか、課題をまだ整理しきれてない感じがするので、ここが大きな課題なのではないかということの小項目で、公共交通関係の整備の提言1の所に課題がぶら下がっていて、それぞれ

に対して意見を言っていくと、まとめるのはその中で共通認識が図られた所が文言になっていけば良いのではないかと思うのですが。

防災もそうです。防災環境のための例えば情報。防災環境における環境整備が不十分であるという課題があるなら、今度見に行くポケベルの話だとかを参考にしながら、それに対してご意見を付け加えていけるのではないかと思います。フリーディスカッションにすると、また終わらないような気がしています。

飛野委員長  
古森局長

加えてご意見がありますか。

三浦委員が言われたように、課題を持ってそれに対して提言する形で議論して欲しいですという話は最初にしたのですが、結局自由討議になってしまったのが実際のところで。それぞれ課題は個人ごとに複数持っておられると思います。そういった課題に対してこういう解決策を提言していこうというのを、それぞれが出していただければそれをもってまた皆さんと討論するという形の方が、確かに進みやすいかとは思いますが。それだと事務局としても助かりますので。

飛野委員長

テーマを2つというのはよろしいでしょうか。絞って網羅していくという考え方。三浦委員がおっしゃいましたが、その課題部分を先にというのはなかなか時間的にも難しい部分があるかと思っています。

皆さんにお諮りしますが、宿題的に出しましょうか。それとも日にちを改めて話し合いませんか。

布施副委員長

私の意見を言わせてもらえば、委員長が……とにかく12月議会にこのテーマを提言したい思いがあって、尻を決めているからスケジュール的に皆さん都合を付けながらやるのですが、三浦委員が言われたし皆さんも思っておられますが、課題としては頭の中にやんわりあって、それを言葉に出してやることの難しさは皆持っておられると思います。そこまでやるのであれば、9月議会への提言を合わせずにでももう少し論議して、より確かに議論するためには時間をかけてやっても良いのではないかと、個人的には思いましたが、多分スケジュール的には7、8月に視察も委員会もあると思います。どうなのでしょう、急いでやるのは。

古森局長

期間的なところを言えば、常任委員会は2年交代なので11月に交代。そうすると特別委員会はどうするかというと、別物かもしれませんが、その時点でもし代わるならそこまではギリギリ延ばすことは可能かなとは思いますが。

布施副委員長  
西川委員

委員長は飽くまでも9月議会にしたいと。

私の記憶が定かなら、第2幕が始まった当初は12月ではなかったですか。12月にまとめようと言っていた記憶があるのですが。

飛野委員長  
古森局長

それは過去の話です。

それは、あと3つテーマがあるので、ある程度均等に割っていったら9か月くらいのペースで進んでいくということだったので、全く同じペースでいけば12月にやるのかなというのが最初の話です。ただ、任期のこともあるので9月にしたいというのが委員長さんのご意見です。



- 飛野委員長 議員としては9月議会が1つの区切りなのです。今どうしてもとは言いませんが、総務の政策討論会の話も聞こえてきましたし、色んなことを踏まえて今度視察に行ったあたりで方向性がはっきり見えてくるのではないかと私は思っています。そこで最終的に皆さんにご相談したいと思います。
- 西川委員 視察が7月なので9月も十分可能だと思います。
- 岡本委員 正副委員長が言われたように、課題を皆さん宿題として持ち帰って、視察があるからその課題を持って視察に絡めてやる。
- 飛野委員長 岡本委員から提案がありました。皆さんお聞きになってどうでしょうか。良いのではないかと委員長は思うのですが。
- そういう形で、バスの中で協議するかもしれません。バス内の時間は十分あると聞いていますし、岡本委員のおっしゃったように進めていけたらと思いますが、よろしいでしょうか。
- ( 「はい」という声あり )
- テーマ2の情報について今日現在お聞きしておかなければならないことはございますか。なければこれも同じような考え方で進めたいと思いますが。
- 布施副委員長 誰の一般質問か分かりませんが、光ケーブルテレビで執行部は考えているという情報がありました。砂川部長が「鉄塔を立てないと」と言われましたが、あの情報が確かなのか、認識不足にしてもその辺をきちんとやっておかないと。
- 古森局長 言われたのは、ポケベルをやるためには鉄塔が必要だという答弁をされた。そのことですね。
- 飛野委員長 では進めてよろしいでしょうか。岡本委員が言われたように今度の視察の時に、宿題をもって視察に臨むということに決めたいと思います。
- 以上で議題1を終わりたいと思いますがよろしいでしょうか。
- ( 「はい」という声あり )

## 2. 議題2の先進地視察

- 飛野委員長 事務局から説明をお願いします。
- 古森局長 皆さんから提出いただいた質問項目については、6月28日に3つの市町に送付しました。送付した質問項目も踏まえて説明していただくようお願いしております。また、行程については、仮行程表を示しておりましたが、一部変更をお知らせしておきます。最終版につきましては、細かいところを確認した後にお知らせします。
- 変更点は、7月16日(火)の浜田市役所出発を7:00から6:30に30分早め(運転手要望)、17日(水)の浜田市役所到着を18:30から19:00に30分遅れることとします(自動運転実験の地:道の駅「鯉が窪」を経由)。
- なお、3市町それぞれの報告者の方には、報告書の提出を7月31日(水)でお願いいたします。 以上です。

飛野委員長

西川委員が梶原町、三浦委員が新見市、柳楽委員が高梁市です。各自報告書をよろしくお願ひします。

この視察について皆さんが確認したいことは何かございますか。

( 「ありません」という声あり )

### 3. その他

飛野委員長

委員の皆さんから何かありますか。

( 「なし」という声あり )

では次回開催日を決めたいと思います。

古森局長

今日宿題になった部分が、いつまでに皆さんから上がってくるかにもよるのですが。3市町の報告は7月末にさせてもらっていますが、視察を受けて、皆さんが持っている課題とそれに対する解決策、提言は、前に作っておいて持っていくのですか。行く前に自分の資料として作っておくということですか。そして視察も含めて最後に再度出してもらって集約して委員会で敲くのでしょうか。

西川委員

視察前に集約して共有しておいた方が、アンテナが一杯立つのでその方が良い気がします。

岡本委員

私もそのつもりで発言しました。

飛野委員長

だったら視察前に提出しておくのか、頭の中に置いておくのか、どちらですか。

西川委員

まとめてもらって、持っていく方が良い気がします。

下間書記

今課題に思っていること、不安に思っていること、疑問に思っていることを書いてもらえば。どうしたら良いかまで書けたら良いですが、その後はまた委員会で話せば良いですよ。自分なりにどうしたら良いかを書ける人は書いてもらいましょうか。

柳楽委員

1、2についてですね。

古森局長

その中に更に小項目として何項目かは課題ごとにあると思います。交通について例えば自分の中に5つ課題があれば、その中で解決策、提言の形まであれば完璧なものになると思います。

下間書記

なければ課題だけ出してもらっても良いですよ。

古森局長

16日に出発しますので、その前が三連休ですので。うちとしては10日か11日、あと1週間しかないですが。広報の視察が10日から3日間ありますよね。

串崎委員

聞いてからしないと、今の課題で解決はどうだと言われても、その話を聞いてからでないと。

飛野委員長

いかがでしょうか、先にやった方が良いか後が良いか。2つに意見が分かれています。折り合いつかないのでしょうか。こういう場合は、後の意見をとって、とりあえず決めません。視察後で。

古森局長

ではその締切をどうしましょう。

下間書記

視察後に出してもらおうということ。

飛野委員長  
古森局長

それは決めましょう。7月末で間に合いますか。

それぞれ3つの市町に行かれるので、それぞれの報告書がなくても大丈夫ですよ、自分で聞いておられるのだから。そうなると、形に残しておかないといけないのだろうか。では7月末に一緒に良いですか。

三浦委員

次の委員会を決めておかないと、それに間に合うように課題提出ができないです。

飛野委員長  
古森局長

次回予定を先に決めます。8月の初っ端、6日かもしくは20日以降。

視察が終わった後に7月29日に松阪市さんが来られます。30、31日は私が特三の関係でおりません。8月1日は議員研修会、8月2日は子育て支援センターの全協、上旬で言えば6日が可能、それか7、8、9日に各常任委員会がありますので、それがもし午前中に終わることがあれば昼からでも。自治区制度は7日の午後からになるかと思います。

(以下、自由討議)

飛野委員長

6日では都合が悪い人。

(該当者挙手)

8日で都合が悪い人。

(該当者挙手)

古森局長

8日だと福祉環境委員会が終わった後になります。7日だと総務と自治区があります。8日が福祉、9日が産業。

(以下、自由討議)

古森局長  
飛野委員長  
古森局長

目安は昼イチくらいで。

では8日13時から、18回目を開催します。

遡って締切日を決めてください。とりあえず出てきたものをワンペーパーにするだけ。私の側で中身をいじることはしませんので。

飛野委員長  
古森局長

締め切りは7月31日です。

では課題とそれに対する自分なりの提言の形を7月末までということ。

飛野委員長

7月31日に提言に関わるものを提出お願いします。そして8月8日の福祉の後、基本は13時から中山間地域振興特別委員会を開催したいと思います。

他に何かございますか。事務局から何かございませんか。

古森局長  
飛野委員長

視察の話を閉会后にさせてください。

では以上で、第17回目の委員会を終わりたいと思います。お疲れさまでした。

(閉議 15時15分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

中山間地域振興特別委員会 委員長 飛野 弘二 ㊞